

第4課 對比與取代：に対して・反面・一方（で）・というより・かわりに

第4課集中講「對比」。日語有好幾個句型都解「相對地、另一方面」，但分工各有不同：に対して 對比兩個不同的對象，反面 講同一件事的正反兩面，一方（で）則泛指「另一方面」。再加上 というより（與其說...不如說...）和 かわりに（作為代價／代替），這一課讓你能精準描述事物之間的差異與取捨。

■ 今課目標

- 用 ～に対して 對比兩個不同的對象（A 和 B 是兩樣東西）。
- 用 ～反面 講同一件事相反的兩面（一好一壞）。
- 用 ～一方（で） 表達「另一方面」，並理解它與 反面 的異同。
- 用 ～というより 把一個說法修正成更貼切的講法。
- 用 ～かわりに 表達「作為代價／作為交換／代替」三種意思。

一、～に対して：相對於...（對比兩個對象）

■ 對比兩個不同的對象

～に対して 把兩件不同的事物（A 和 B）並排比較，突出它們的差異，即「相對於 A，B 就...」。重點是 A 同 B 是兩樣不同的東西。

■ 形式規則

名詞 + に対して；普通形（な形容詞+な／である・名詞+な／である）+ のに対して。

■ 例句

1. 兄は社交的なのに対して、弟は内向的だ。
→ 哥哥外向，相對地弟弟內向。對比兩個人。
2. 去年の夏は雨が多かったのに対して、今年は晴れの日が続いている。
→ 去年夏天多雨，相對地今年一直放晴。對比兩個年份。
3. 大阪は大雨だったのに対して、東京はいい天気だった。
→ 大阪下大雨，相對地東京天氣很好。
4. 姉が外で遊ぶのが好きなのに対して、妹は家の中にいるのが好きだ。
→ 姐姐喜歡在外面玩，相對地妹妹喜歡待在家。

二、～反面：另一方面（同一事物的正反兩面）

■ 同一件事的相反兩面

～反面 講「同一件事物」既有 A 的一面，同時又有相反的 B 的一面，通常是一好一壞。前後兩面必須是相反、對立的。

■ 形式規則

普通形（な形容詞＋な／である・名詞＋である）＋ 反面。

■ 例句

1. この仕事は給料がいい反面、残業が多い。
→ 這份工作薪水好，但相反加班多。同一份工的正反兩面。
2. 都会の生活は便利な反面、ストレスも多い。
→ 城市生活方便，但相反壓力也大。
3. 自由な時間が増えた反面、収入は減ってしまった。
→ 自由時間多了，但相反收入減少了。
4. 彼は厳しい反面、生徒思いの優しさもある。
→ 他很嚴格，但另一面又很關心學生。

三、～一方（で）：另一方面

■ 兼有「並列」與「對比」

～一方（で）有兩個用途：一是「同一個主體既有 A，同時又有 B」（兩面不一定相反，只是並存）；二是把兩個不同的情況對比起來。用於對比時，跟 反面 大致可以互換。

■ 形式規則

普通形（な形容詞＋な／である・名詞＋である）＋ 一方（で）。

■ 例句

1. 會議では自分の意見を言う**一方で**、人の話もよく聞くべきだ。
→ 開會時要表達自己的意見，另一方面也要好好聽別人說。同一個人的兩面。
2. 彼は会社員である**一方で**、週末は小説を書いている。
→ 他是上班族，另一方面週末又在寫小說。
3. 經濟が発展する**一方で**、環境問題が深刻になっている。
→ 經濟發展，另一方面環境問題愈來愈嚴重。對比兩個情況。
4. 都市の人口が増える**一方で**、地方では人が減っている。
→ 都市人口增加，另一方面鄉村人口減少。

四、に対して・反面・一方 三者比較

■ 三句一表分清

這三個都解「相對地／另一方面」，最容易攪亂。記住：に対して 對比的是兩件不同的東西；反面 講同一件事的相反兩面；一方 範圍最闊，兩面不一定相反。反面 多數可用 一方 代替，但 一方 不一定可用 反面（因為 反面 強制要相反）。

に対して / 反面 / 一方（で） 對比

句型	對比的是	兩面關係	例
～に対して	兩個不同對象 (A・B)	並列對照	兄は社交的なものに対して、弟は内向的だ。
～反面	同一事物的兩面	必須相反 (一好一壞)	便利な反面、ストレスも多い。
～一方（で）	同一事物或兩個對象	不一定相反，並存即可	意見を言う一方で、人の話も聞く。

五、～というより：與其說...不如說...

■ 把說法修正成更貼切的

～というより 表示「比起說成 A，說成 B 更貼切」，用來把第一個講法換成一個更準確的講法。接普通形（な形容詞、名詞通常去掉 だ）。

■ 形式規則

名詞／形容詞／動詞普通形 + というより（な形容詞・名詞多去 だ）。後面接更貼切的講法。

■ 例句

1. 彼は友だちというより、競争相手だ。
→ 與其說他是朋友，不如說是競爭對手。
2. 彼女は歩くというより、走っているといった感じだ。
→ 與其說她在走，不如說像在跑。
3. 頼まれたというより、命令された。
→ 與其說是被拜託，不如說是被命令。
4. このスープは温かいというより、ぬるい。
→ 這湯與其說是溫的，不如說是不冷不熱。

六、～かわりに：作為代價／交換／代替

■ 三種意思

～かわりに 有三個相關的意思：①作為代價／另一面（有好處同時有代價）；②作為交換、回報（做 A 來換 B）；③代替（用 A 代替原本的 B）。名詞時用「名詞+の+かわりに」，也可表示「代某人做」。

■ 形式規則

三種意思對照

1. ① 代價／另一面：自由が多いかわりに、収入が不安定だ
2. ② 交換／回報：英語を覚えてもらうかわりに、日本語を教える
3. ③ 代替：社長のかわりにに部長が出席する

動詞普通形／イ形容詞／な形容詞＋な／名詞＋の + かわりに。

■ 例句

1. フリーランスは自由な時間が多い**かわりに**、収入が不安定だ。
→ 自由工作者時間自由，但代價是收入不穩定。(代價)
2. リーさんに英語を覚えてもらう**かわりに**、日本語を教えている。
→ Lee 教我英文，作為回報我教他日文。(交換)
3. 今年は旅行に行く**かわりに**、家でゆっくり過ごす。
→ 今年不去旅行，改為在家好好休息。(代替)
4. 社長のかわりに**かわりに**、部長が会議に出席した。
→ 部長代替社長出席了會議。(代某人)

七、常見錯誤與總整理

■ 常見錯誤

- **×** 兄は社交的な反面、弟は内向的だ。
○ **兄は社交的なものに対して、弟は内向的だ。**
對比兩個不同的人（兄 vs 弟）要用 に対して；反面 是講同一件事的兩面。
- **×** この仕事は給料がいいのに対して、残業が多い。
○ **この仕事は給料がいい反面、残業が多い。**
同一份工作的正反兩面要用 反面 或 一方（で）；に対して 用來比較兩件不同的東西。
- **×** 彼は親切より、おせっかいだ。
○ **彼は親切というより、おせっかいだ。**
「與其說...不如說...」要用 というより；單用 より 是普通的「比起」。
- **×** 社長のかわりで、部長が出席した。
○ **社長のかわりに、部長が出席した。**
「代替某人」用 ~のかわりに，不是 かわりで。
- **×** 便利な一方、不便な一方もある。
○ **便利な一方で、不便な面もある。**
一方（で）通常只用一次去帶出另一面，不會兩邊都用 一方。

總結輸出：寫一段約五句的短文，比較兩樣東西（例如城市 vs 鄉村、兩份工作）。最少用上 に対して、反面（或一方）、というより 各一次。
